

JAきたみらい

# あひま サカタ

2013



vol.125

6

## はいっポーズ!

《訓子府地区・北栄》

大澤由美子さんと希海ちゃんのぞみ

(紹介は2ページです)

特集

●夢を育て未来を拓く  
～平成25年度 新規就農者紹介～



# 季節の薫り



## ～遅咲きの桜～

5月に入っても天候不順が続き、私たちの日常生活にも様々な影響を及ぼしている。

今年の桜開花前線は平年と比べて非常に遅く、北見地区の桜の名所のひとつ、金比羅（ことひら）山さくら公園では満開となったのが5月24日。平年と比べ18日も遅咲きとなった。

この遅れは農作業も同様で、連日の低温・降雨により畑に入ることが出来ない日々が続き、春の植え付け作業が進まず、生産者を悩ませる。

5月の下旬になり、ようやく太陽が顔を出し始めた。生産者は遅れを取り戻そうと、必死に作業を進めている。そのひたむきな姿に心が打たれると同時に、これからの今後の天候の安定を願う想いがこみ上げてくる。



写真：5月24日午前10時、上常呂地区・金比羅山さくら公園内で撮影。写真左は満開となった桜を撮影。桜の撮影中に、暖かい陽気に誘われ、餌を探しているリス（円写真）を撮影しました。

### もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「ナスと厚揚げの丼」 「モズクの梅香スープ」	22
○JAからのお知らせ	18
○ほのぼのの広場 ・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・わが家のアイドル ・ブリティーウーマン ・大きくなったら ・元気な先輩 ・思い出の写真 ・まちがいきがし ・読者の声	14
○JAきたみらい ホットライン東西南北	10
○表紙紹介 「幸せを願って」	2
○季節の薫り	2
<b>特集①</b> 夢を育て未来を拓く 平成25年度 新規就農者紹介	4

### 表紙紹介

## 幸せを願って

青空が広がり夏並みの暑さとなった5月31日、大澤さん宅に着き玄関のドアを開けると、お父さんの賢太さん、お母さんの由美子さんと抱っこされた希海ちゃん、お母さんが元氣よく迎えてくれました。

誕生から9ヶ月が過ぎ、普通のご飯も喜んで食べるようになった希海ちゃん、最近では少しずつ言葉を話せるようになり、「昨日は「パパ」と声に出したんです」とお母さんが話し、その様子をお父さんはうれしそうに振り返っていました。伝い歩きも上手になり、家族が仕事に出ている間は、家でお母さんと一緒に「かかれんぼ」をしながら、みんなの帰りを待っています。行動範囲も広がり、カーテンの後ろ側に隠れるのが得意です。

取材中もお茶の間のテーブルに、かまりながら歩き、私たちのところに来てくれた希海ちゃん。人見知りもせず、愛らしい笑顔をたくさん見せてくれました。そんな希海ちゃんにお父さんとお母さんは、「好きなことを見つけて欲しいです、そして幸せになって欲しいです」と優しいまなざしを向けていました。

※今月号の表紙は、お父さんの賢太さんに撮影して頂きました。ご協力ありがとうございました。



【ご家族紹介】  
前列左から～おばあちゃんの清子(きよこ)さんと(57)と希海(のぞみ)ちゃん(9ヶ月)、おじいちゃんの健二さん(59)、  
後列左から～お母さんの由美子さん(31)、お父さんの賢太さん(31)  
大澤さんは小麦、てん菜、馬鈴薯、スイートコーンなど約41品を  
作付けしています。

# 特集

# 夢を育てて未来を拓く

平成25年度

ニューカマー

## 「新規就農者」紹介

本年4月後半から続いた低温・降雨で大幅に春の植え付け作業が遅れ、組合員のみなさんは苦労されたことと思います。そのようななか、本年度、JAきたみらいの各地域に将来を期待される21名の新規就農者が就農しました。新たに仲間となった力強いニューカマーのみなさんをご紹介します。

上常呂地区・常川  
けいすけ  
合田 佳祐さん



今年の3月に創価大学を卒業後と同時に就農しました。農家を継ぐことは子供のころから考えていましたが、卒業後すぐに地元に戻るか、企業に就職をするかを悩んでいました。家族とも相談し「両親の手助けになれば」との思いから就農の道を選びました。

今後の目標は安定した経営を維持できる農家を目指したいです。そのためにはまず、一年を通した仕事の流れを覚え、機械の扱いを学び、自在に操縦できるようになることで、少しでも早く一人前の農業者になれるよう努力していきます。

佳祐さんは、水稲、玉葱、小麦を作付けする彰男さん、まゆみさん夫妻の次男で、平成2年8月生まれの22歳です。趣味はスポーツ観戦、ゲーム、読書です。

上常呂地区・北上  
かける  
西野 翔さん



今年の3月に北見柏陽高校を卒業して就農しました。小学生の頃から家の仕事を手伝うなかで“農業”という職業に魅力を感じていました。その頃から「自分も農業をやりたい！」と思い始め、高校卒業をきっかけに就農を決意しました。

今は、農業者としても社会人としても1年目なので、まずは農業のことを十分学び、早く農業者として一人前になりたいと思います。また、青年部や4Hクラブに参加し、積極的に同じ農家の方々と交流を深めていきたいと思っていますので、みなさんよろしくお祈りします。

翔さんは小麦、てん菜、馬鈴薯、小豆を作付けする繁さん、篤子さん夫妻の長男で平成6年11月生まれの18歳です。趣味はドライブ・スキーなど行動的なアウトドア派です。

置戸地区・常盤  
なおと  
安 直人さん



後継者になろうと考えるようになったのは、中学生の頃です。将来自分は何をしたいのかと考えた時、他にやりたいことがなく、別に牛は嫌いじゃないし親の手伝いをしてもいいかなという、とても単純な理由で農業の道に進むことに決めました。

高校・大学で牛のことについて授業や実習をたくさんしてきましたが、勉強が嫌いな自分は遊んでいることが多かったので、正直あまり頭には入っていません。家で仕事を始めてから一ヶ月以上経ちますが、酪農の難しさ、大変さを日々痛感しています。

酪農に関してはまだまだ初心者な自分ですが、これから少しずつ成長していきたいです。

直人さんは、酪農専門の孝志さん、まりこさん夫妻の長男で平成4年9月生まれの20歳です。趣味は車いじりです。

置戸地区・川南  
ゆうすけ  
小建 祐輔さん



今年の3月に帯広畜産大学を卒業し就農しました。酪農をやりたいと思ったのは大学進学後で、一番の要因は乳牛共進会でした。学生時代の実習で、牛を洗ったり、調教をするうちに牛と接する機会が増え牛を好きになり、地区や全道の共進会にも参加し、多くの乳牛をみるのが楽しく、興味をもち始めました。

長年にわたって、父が乳牛改良に取り組んでいるので、協力し地域の方々や青年部のみなさんと交流して情報交換しながら、乳牛のレベルアップを図り、乳用性に富んだ品質の良い乳牛づくりに努めたいです。

祐輔さんは、酪農専門の一彦さん、博子さん夫妻の長男で平成4年8月生まれの20歳です。趣味は野球・釣り・スポーツ観戦です。

置戸地区・拓実  
たけひろ  
蝦名 武大さん



私は、中学生の頃から「将来は酪農家になって安心・安全な牛乳をたくさん搾りたい！」と思い、美幌農業高校を卒業すると同時に就農しました。

現在は、乳牛改良を目的に共進会に積極的に参加しています。毎日の作業と並行して牛の歩行や体を洗ったりするのは大変なことですが、とても楽しく充実した毎日を送っています。

今後はTPPがどうなるかわかりませんが、TPPに負けない経営を目指し、消費者のみなさんに「安心・安全な牛乳を届ける」を目標にこれから頑張っていきたいと思っています。

武大さんは、酪農専門の賢信さん、芙美子さん夫妻の次男で平成5年8月生まれの19歳です。趣味はドライブ・釣り・スノボ・サッカーです。

置戸地区・秋田  
ゆうた  
松崎 祐太さん



札幌で運送会社に勤めている時に、酪農家の長女である妻と結婚し、二人の娘に恵まれました。大自然の中で子育てしたいという思いと、元々あった自営業への憧れから妻の実家の家業である酪農への就農を決意しました。

酪農の知識は全くなく、家庭を持ちこの年齢での就農は勇気がいりましたが、家族を始め地域の方々に助けてもらいながら日々を送っています。

就農してから約1ヶ月、今は、戦力にはありませんが、いつの日にか「祐太君に全て任せられる」と周りのみなさんから言われるよう目標に頑張っていきたいです。

祐太さんは、酪農専門の佐藤正光さん、真佐美さん夫婦の長女・綾香さんの夫で昭和59年5月生まれの29歳です。趣味はオートバイです。



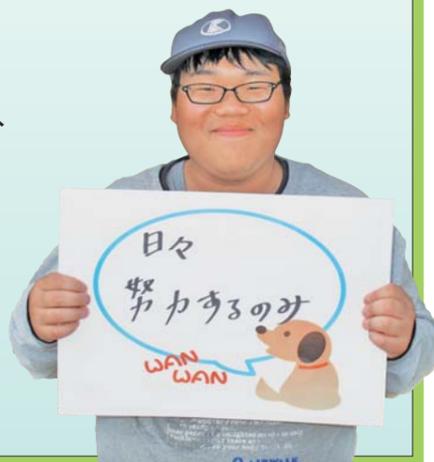
相内地区・本沢  
しょうま  
**眞田 翔麻さん**

北見緑陵高校を卒業後、就職条件の中で、候補の一つであった農業を選択し、今年の春から就農しました。

肥料・農薬に関する知識は乏しいですが、今後、努力を重ねて少しでも早く覚えたいです。最近免許を取得したばかりなので、トラクター操作もまだまだ勉強が必要でもっと上手に扱えるように頑張っていくたいと考えています。

翔麻さんは秋小麦、てん菜、玉ねぎ、馬鈴薯、南瓜を作付けする肇さん、真理子さん夫妻の長男で平成5年12月生まれの19歳です。

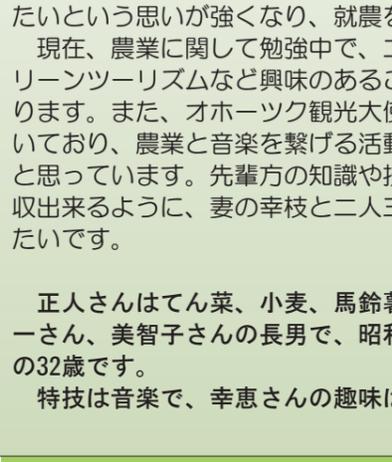
趣味のインターネットにはまっています。



北見地区・大正  
まさと  
**遠藤 正人さん**  
さちえ  
**幸枝さん**

これまで東京で音楽活動をしていました。子どもの頃から両親の仕事を手伝っていたこともあり、自分も農業を築いていきたいという思いが強くなり、就農を決めました。現在、農業に関して勉強中で、エコファームやグリーンツーリズムなど興味のあることがたくさんあります。また、オホーツク観光大使を務めさせて頂いており、農業と音楽を繋げる活動もしていきたいと思っています。先輩方の知識や技術を少しでも吸収出来るように、妻の幸枝と二人三脚で歩んでいきたいです。

正人さんはてん菜、小麦、馬鈴薯を作付けする幸一さん、美智子さんの長男で、昭和55年8月生まれの32歳です。特技は音楽で、幸恵さんの趣味は散歩です。



北見地区・三輪  
だいじろう  
**竹下大次郎さん**

高校を卒業後、札幌で就職活動をしていましたがなかなか決まらず、少しでも両親の助けになればと実家に帰り、就農しました。

今後は両親に教わりながら仕事を覚え、とにかく1年色々な経験をして、当面は現状を維持できればと考えています。先日、三輪のみなさんに就農祝いをしていただいたので、地域の方々とも情報交換が出来るような良い関係を築いていきたいです。



大次郎さんはほうれん草、スイートコーン、春菊を作付けしている忠勇さん、由美子さんの二男で、平成61年7月生まれの26歳です。趣味はゲームです。

北見地区・北陽  
けいち  
**小野 敬市さん**

北海道医療大学に在学中、幼い頃から身近にあった農業に対する思いが強まり、この春から就農しました。

農作業を通して、改めて農業は一人では出来ないことや、時には決断力も必要であることを実感しました。今後は経験を積み重ね、技術を覚えるとともに、青年部活動や地域の方とのつながりを大切にしながら営農に励みたい。そして、両親、祖父母がこれまで築きあげた軌跡を受け継いでいきたいです。

敬市さんは、玉ねぎやてん菜、小麦、馬鈴薯などを作付けする善生さん、久美子さんの長男で、平成2年6月生まれの23歳です。趣味はアメフトやFX(外国為替)、お酒を飲むことです。



# 若きプロフェッショナルに幸あれ！

若者を確実に墮落させる方法がある。違う思想を持つ者よりも同じ思想を持つ者を尊重するよう指導することである。

ニーチェ (19世紀ドイツの哲学者)



若者のために、未来を創れるとは限らない。だが、未来のために、若者を創ることはできる。

フランクリン・ルーズベルト (第32代米大統領)

選択肢を前にした若者が答えるべき問題は、正確には、何をしたらよいかではなく、自分を使って何をしたいかである。

ピーター・ドラッカー (経営学者)



北見地区・豊地  
ゆうき  
**岡部 祐樹さん**

釧路の高校に通っていましたが、入学した時から早く働きたいと考えていました。2年生になった頃、農業に関心がわき、この春に卒業と同時に就農しました。

父と一緒に玉ねぎの播種作業を行いました。分からないことばかりで、これからもっと勉強していきたいという思いと同時に、これまで営農してきた父を尊敬する気持ちが強くなりました。今後は父を先輩として、そして農業について話し合える仲間として、切磋琢磨して成長していければと思います。

祐樹さんは玉ねぎ、てん菜を作付けする浩さん、郁代さんの次男で平成6年8月生まれの18歳です。

特技は小学校3年生から続けているスケートです。



北見地区・三輪  
たくや  
**竹下 託矢さん**



今年の春に東京農業大学短期大学部を卒業し、勉強するなかで改めて農業に興味を持ち、農業全般について学んできた技術を活かしたいと思い就農しました。

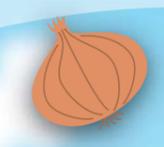
しかし、実際に仕事をするとすると、短大の勉強だけではまだまだわからない部分も多く、まずは様々なことに挑戦したいと思っています。また青年部活動などで色々な人と交流し、知識を深めていきたいです。

託矢さんは玉ねぎや種芋、てん菜、小麦を作付けする雅英さん、弘子さんの二男で、平成4年12月生まれの20歳です。

趣味は音楽鑑賞とドライブです。



# 東 西 南 北



## 温根湯

### ニンジン播種 最盛期

～豊作を願い 25畝播種～



▲原谷さんの圃場にて行われた播種作業

今年5月に入って不順な天候が続き、各作物の植え付け作業が遅れている中、温根湯地区平里の原谷清作さんの圃場では5月20日、2回目のニンジンの播種作業が行なわれました。

今年25畝のニンジン作付を予定している原谷さんは、一定期間、一定量を安定的に出荷するため、播種時期を4月下旬から6月下旬の間、5回に分けて作業を行う予定で、初めに播種した圃場には発芽促進のために被覆材も掛けられています。

原谷さんは「ニンジンのは芽が難しいので、今後の天候を見計らいながら播種作業を行います。タイミングが重要です」と話してくれました。

順調に生育が進めば8月から収穫作業が始まります。収穫量は反当2500kgを見込んでいます。

## 相内

### デントコーン 115畝を播種

～酪農家7戸で 共同作業～



▲順調に播種作業を行うコーンプランター

相内コーンプランター利用組合（加城寿光組合長）は5月21日、デントコーンの共同播種作業を始めました。

今年春の天候不順と低温により、例年より数日遅れての作業開始となりました。

今年の共同播面積は115畝を予定しており、5月27日頃の終了を見込んでいます。

同組合の7戸の構成員は毎日の搾乳や牛舎作業の合間を縫い、種子・肥料の運搬、播種などの作業を分担し、効率よく作業を行っていました。

5月は悪天候に悩まされましたが、加城組合長は「これからの好天に期待し、秋には高収量・高栄養価のデントコーンが収穫できるよう、期待しています」と話し、また「昨年の収穫期は長雨に悩まされたので、今年こそは適期収穫とラッピング作業が順調に行えるよう期待しています」と話してくれました。

## 上常呂

### 圃場乾かず 大幅に遅れ

～管理作業を徹底し 平年作の確保～



▲長葱を植える奥さんのあけみさんと娘さんのかおりさん

上常呂地区の戸田博志さんの圃場では5月26日より長葱の定植が始まりました。

同地区の野菜振興会茎葉菜部会の役員を務める戸田さんは本年、50坪の作付けを予定し、3月6日にチエーンポットに播種、順調に生育し、5月中旬には定植を終了する予定でした。しかし今年は、まだみらい全地区で4月下旬から5月中旬までの低温・降雨の影響で定植や播種作業が遅れ、戸田さんの畑もなかなか乾かず、定植が大幅に遅れて始まりました。

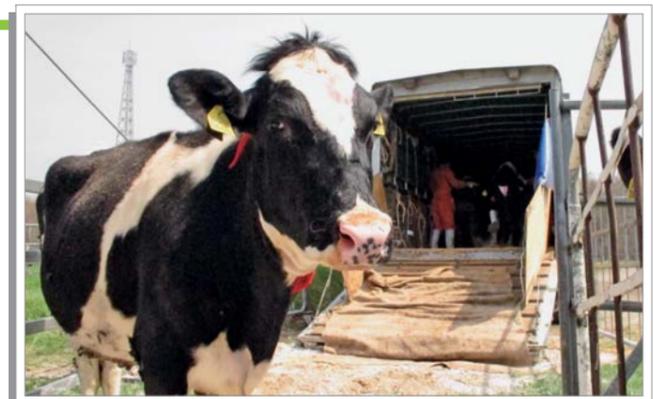
戸田さんは「畑が悪い状態では、無理して植えても長葱は生育しないので畑が乾くまで待っていた。管理作業を徹底して、平年の収量を確保したい」と話してくれました。

同地区では昭和58年から長葱栽培が導入され、本年は約2畝の作付けを予定、収穫量は52トの収量を見込んでいます。

## 置戸

### 緑の大地に 飛び出す

～釧北牧場に 200頭入牧～



▲トラックから飛び出す若牛

置戸地区・拓実にある釧北牧場では5月27日、置戸町、JA、運送業者等が協力し、一斉入牧が行われ、今年は18戸の酪農家から約200頭の乳牛が入牧しました。

各酪農家の畜舎からトラックで搬送されてきた若牛は、耳標番号の確認や消毒を終えると、勢いよく放牧地に飛び出して行きました。狭いトラックから解放された若牛たちは、広い放牧地で牧草を食べ、水を飲み、晴天の中、300畝の広大な緑の大地を満喫していました。

年間で270頭の乳牛と20頭の和牛の入牧を予定し、今後も随時入牧が行われます。

10月下旬には、約5ヶ月間の放牧を終えます。入牧した若牛たちは栄養価の高い牧草を飽食し、入牧より一回りも二回りも大きくなって、それぞれの酪農家の牛舎へ戻っていくことでしょう。

端野

おいしい米を  
作りたい

～豊作を願い  
田植えスタート～



▲さっそうと田植え作業に励む山田さん

北見市端野地区では5月下旬から田植え作業が始まり、同地区・二区の山田孝幸さんは6月1日、晴天の広がるなか、田植えを始めました。

もち米振興会端野支部の副支部長を務められている山田さんは、「きたゆきもち」を約10・8畝作付しています。6月7日頃までには田植えを完了させる予定で、さっそうと作業を行っています。

今年の作業について山田さんは「初まきが終わってから低温が続く、芽が出るから心配しながら温度管理に苦労しました。今年は正品で9俵を目指したいです。なんと云っても、おいしい米を作りたいですね」と作業に忙しいなか、話してくれました。

端野町では今年、259畝の水稲作付を予定しており、1194トンの生産量を計画しています。

北見

新鮮野菜に  
大勢の市民

～かあさんの  
朝市会スタート～



▲野菜を手に取り買い求める来場者のみなさん

北見市かあさんの朝市会が5月26日、JAきたみらいセンター事務所特設会場で開催され、晴天のもと約200人の市民が来場し、活気と笑顔であふれました。

今年で21回目を迎える朝市会の開催に先立ち、古澤肇子会長は「毎年続けてこられるのは消費者の皆さんのおかげ。寒さが続き例年よりも品数は少ないが、今年も新鮮な野菜や花を届けたい」と挨拶を述べました。

当日は、会員9名とその家族が参加。来場者と会話を交わしながら小松菜、葱、椎茸、豆類、野菜苗など丹精込めて作られた品物を販売し、開始からわずか15分ほどで完売しました。

訪れた市内に住む男性は、「昨年買った野菜が美味しかったので今年も開催を楽しみにしていました」と話し、旬の野菜を買い求めていました。

留辺蘂

一年間の  
安全を願って

～安全祈願祭に  
40人が参列～



▲祝詞（のりと）を上げる山田さんと関係者のみなさん

合同会社コントラ瑞穂組合（井上啓一代表社員）は5月9日、留辺蘂・花園地区のコントラ車庫前で安全祈願祭を行いました。

この安全祈願祭は、同組合が設立した平成15年から、本格的な農作業が始まる前の時期に、毎年行われているもので今年で10年目になります。

当日は、社員である生産者の皆さんや関係機関など約40人が集まり、祭司の山田健一さんのもと、祝詞が上げられ、各関係機関の代表者による玉串奉奠と、参加者全員による参拝が行われ、今年一年の安全と豊穰を祈願しました。

祈願祭終了後は、花園牧場にて懇親会が行われ、焼肉を囲みながら農作業事故への注意や、今年度の作物の生育と天候などについて話ながら親睦を深めました。

訓子府

JA事務所に  
花壇設置

～サルビアなど  
180本植え付け～



▲きれいに花を植えつける女性部のみなさん

女性部訓子府支部（齊藤晴美支部長）は5月31日、花壇設置しました。昭和58年から始まった花壇設置は今回で30回目。

今年はマリーゴールド、サルビア、ペコニアの花を約180本植え、素敵な花壇を完成させました。花壇は訓子府事務所前や給油所、資材店舗前に設置し、事務所などに訪れる組合員や地域住民の目を楽ませてくれます。

当日は訓子府地区の女性部役員9名が協力し、土の配合や花の配置、組み合わせを工夫しながら、慣れた手つきであっという間に花壇を完成させていました。

花壇の花は7月頃に満開を迎えます。黄色や青、赤やピンクなど、愛情がたっぷりこめられた色鮮やかな姿を見せてくれることでしょう。

3種類の花言葉は、マリーゴールドが「健康」、サルビアは「家族愛」、ペコニアは「幸福な日々」を表します。

# わが家のアイドル

端野地区・協和

佐藤 柚希(ゆずき)ちゃん(4歳8ヶ月)  
優成(ゆうせい)くん(2歳9か月)

## 姉弟2人元気で仲良し

プリキュアが大好きな柚希ちゃんは、かわいいシールを集めるのがお気に入り。お母さんの作る料理では、焼き魚や、ニラの入っているお味噌汁が大好きです。ひらがなで自分の名前を書けるようになった柚希ちゃんは「お母さんの手伝いをがんばるよ!」と話してくれました。

イチゴが大好きな優成くんは、ボール遊びがお気に入り。取材中も元気に家の中を動き回っていました。最近ひとりでトイレに行けるようになった優成くんは、柚希ちゃんと姉弟2人仲良く遊んでいます。

とても元気な2人にお母さんは、「健康で、誰にでも優しくできる思いやりのある子に育ててほしいですね」と話してくれました。



端野地区・協和の佐藤友哉さん、民美さん夫妻のお子さんです。



# きたみらいの ホープさん

- 趣味は？  
読書です。
- 好きな食べ物は？  
チョコレートなど、甘いもの全般が好きです。
- 理想の女性は？  
仕事を理解してくれる、元気な人がいいですね。
- 結婚はいつまでに？  
今はまだ結婚は考えていませんが、一人前になってからと思います。
- 休日の過ごし方は？  
友達と飲みに行ったりしています。
- 農業に対する抱負・目標は？  
繁殖管理と、牛群管理をしっかりと、今以上の出荷乳量にしていきたいと思っています。

## 繁殖・牛群管理を しっかりと!!

端野地区・豊実

佐藤 達典さん(25歳)

7月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部?支部の?さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

達典さんは、酪農経営とあわせて、小豆なども作付している哲弘さん・房江さん夫妻の長男で、就農して5年目になります。

# Pretty Woman ウーマン



## 夫婦で仲良く パトロール

北見地区・北陽

黒須 倫子さん(53歳)

今月から新企画として始まった「プリティーウーマン」は、各地区で女性部・フレミズで楽しく活動されているみなさんを紹介・応援するコーナーです。今回は女性部副部長の黒須倫子さんに登場いただきました。

### ◆ご出身は？

東京でOLをしてました。

### ◆結婚されたきっかけは何ですか？

東京のごちゃごちゃした生活から抜け出し、北海道でのんびり暮らしたい!と考えていました。北見市ホームページで「農家のお嫁さんになりませんか?」という募集を発見し、応募して旦那さんと出会いました。旦那さんとは地区の作業の様子を見て回るなど、よく二人でパトロールしています。

### ◆趣味は何ですか？

旅行が好きです。今年は旦那さんの希望で、夏に東京に行く予定です!

昨年女性部で実施した南紀・白浜方面への視察研修もとても有意義でした。今年は冬にディズニーランドへ行く企画があるので、ぜひ参加したいと思っています。

### ◆組織活動のどんなところが楽しいですか？

結婚し北海道に来た頃は北陽地区の人しか知りませんでしたが、女性部に参加してからは、きたみらい全地区の人と親しくなることができました。現在オホーツク地区の役員を務めており、全道の人とも交流する機会に恵まれました。家にいるだけでなく、外へ出ていくことで自分も成長できたと感じています。

### Q出身地は？

英樹さんは、北見市東相内町出身で、弘美さんは、留辺蘂町出身です。

### Qいつ結婚しましたか？

平成7年9月です。今年で結婚18年を迎えます。

### Q楽しかった・辛かったことは？

英樹さん~地元の青年団活動で、スポーツ大会やドライブに行き皆で楽しく遊んでいました。辛かったことはあまり感じていませんが、経営移譲してからはもっとしっかりした経営を目指したいですね。

弘美さん~初めは、農業に対してはすべてが不安でいっぱいでしたが、夫の助けを得ながら現在に至っています。

### Q趣味・娯楽は？

趣味は、特にありませんが、夫婦で野球を見るのが楽しみです。巨人を応援しています。

### Qこれからのことは？

これからは、二人で管内のグルメめぐりをしたいですね。

### Qお互いへの感謝の言葉？

英樹さん~妻には、いつも美味しい料理を作ってくれてありがとう!!

弘美さん~二人仲良く健康に十分注意して過ごしていきたいですね!!



## ながよし夫婦

今月より始まった新コーナー「ながよし夫婦」は、若い方から年配の方まで幅広く紹介します。

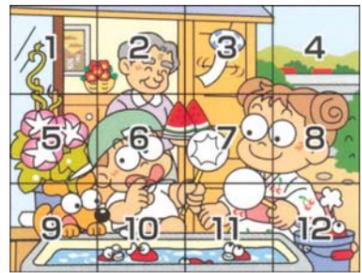
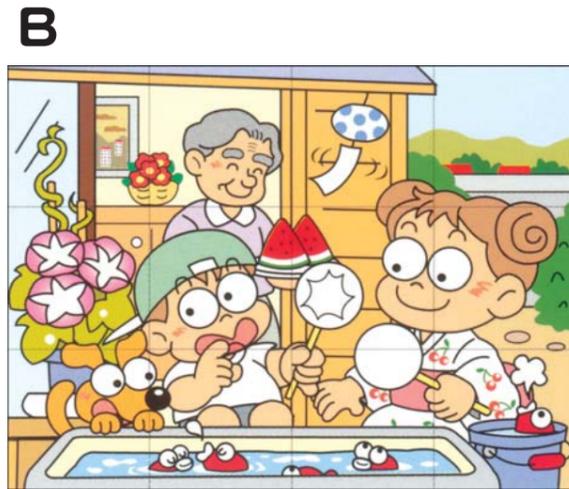
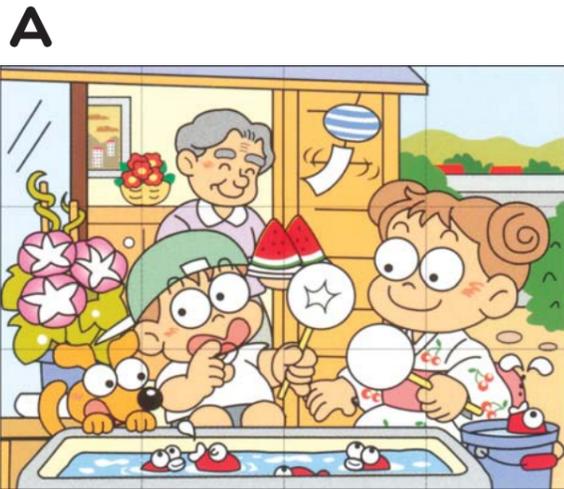
## 二人仲良く健康に

相内地区・東相内

諸 橋 英 樹さん(49歳)  
弘 美さん(45歳)

# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分があります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。



## 5月号クイズの当選者

5月号のまちがいさがしの答えは「3. 6. 8. 9. 12」でした。正解者40名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの坂下専務にお願いしました。

( )内は地区名

- ・水野 叶望さん (温根湯)・川股さゆりさん (上常呂)
- ・澤山 優希さん (留辺蘂)・鉄地河原和子さん (北見)
- ・平塚 真子さん (訓子府)・小川美代子さん (北見)
- ・太田穂乃香さん (訓子府)・福井 雄大さん (北見)
- ・清井久美子さん (訓子府)・五十嵐心愛さん (端野)

以上の方々には、JAきたみらいの冷凍食品「北海道レンジでシチュー(3食入)」5袋をプレゼントします。

## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、このほど新発売されたJAきたみらいの加工食品「玉葱醤油」(180ml) 2本プレゼントします。

## 元気な先輩

今回から始まった「元気な先輩」は、各地域で活躍されている年輩の方を紹介するコーナーです。



留辺蘂地区・花園  
あきら  
太田 輝さん  
(77歳)

## 試行錯誤の酪農業

輝さんは昭和26年に地元の中学校を卒業後に就農しました。

当時は、馬鈴薯を中心に作付けていました。昭和32年に留辺蘂町から仔牛を一頭もらいうけたのが酪農業の始まりで、そこから少しずつ頭数を増やしていきました。奥さんの伏美子(ふみこ)さんと結婚した際、伏美子さんは牛が苦手だったため、一頭だけを残して牛をすべて売ってしまったそうです。その後、伏美子さんを説得し、また少しずつ頭数を増やしていき、現在に至りました。

当時、輝さんは地域の牛乳の回収業を務めていた時期があり、毎朝、沢の水に沈めて冷やした、各酪農家のミルク缶をトラックに載せ、農協の回収場所まで運んでいました。輝さんは「冬の時期に吹雪になるとトラックが故障したり、春には道のぬかるみにタイヤを取られ、他の酪農家のミルク缶をひっくり返して弁償したりと、大変だった」と懐かしそうに語ってくれました。

経営移譲した現在の楽しみは、育成牛の管理の手伝いと、お孫さんに会うことだと、笑顔で話してくれました。

## ほのぼのの広場

## 大きくなったら



上常呂地区・常川  
今田 涼花ちゃん(6歳)  
悠仁くん(2歳)

## ケーキ屋さんになりたい!

涼花(すずか)ちゃん

わたしは大きくなったらケーキ屋さんになりたいです。ママとクッキーも作ったことがあります。特にチョコレートケーキが大好きなので、甘くておいしいケーキをたくさん作りたいです。

## トラクターに乗りたい

悠仁(はるひと)くん

ほくはパパの運転するトラクターにのるのが大好き。家でもトラクターのおもちゃに乗ってるよ。

今田佳友さん、まゆみさん夫婦のお子さんです。

**期** 待した天気が続かない毎日です。昨年も異常気象に悩まされた年だったが、今年も変な天気です。体に気をつけて頑張るしかないですね。

(温根湯地区・長谷川和子さん)

本当に寒い5月でした。日中はそこそこ温度が上がっても、夜は寒く今だにわが家のストーブをOFFにできません。みなさんも風邪などひかないように体調管理に気を付けてください。

**初** めてこのまちがいさがしに挑戦しました。これからもこのクイズに挑戦したいです。

(訓子府地区・平塚 真子さん)

初挑戦ありがとうございます。これからも楽しく見ていただけるよう、スタッフ一同がんばります。

**早** く天気になあ〜れ! 神よ、お願いします。

(端野地区・今村 一郎さん)

本当に太陽が恋しいですね。誰か、てるてる坊主を逆さにしていませんか。

**雪** や雨が続き定植作業が大幅に遅れましたが、作業には十分気を付けて豊穰の出来秋を迎えたいです。

(北見地区・小川美代子さん)

雪・雨・低温で植え付け作業が大幅に遅れ、組合員のみならず大変苦労されたことと思います。これからの好天と適度な降雨で豊穰の秋を迎えられますよう祈念します。



▲前から2列目一番左が本人

## 農協婦人部の研修旅行

置戸地区・北光

大和田節子さん(84歳)



## 思い出の写真

この写真は、昭和63年に行われた置戸町農協婦人部の研修旅行先での集合写真です。

置戸町農協婦人部は昭和33年に設立され、この年に30周年の節目を迎えました。節子さんは20代の頃から婦人部に加入し、部会活動を通じてたくさんの思い出を作りました。

この当時、部員は約250名在籍しており、年に一度の旅行で、他地区のみんなと顔を合わせるのが楽しみだったそうです。「置戸町は山と緑に囲まれているので、普段見慣れない海や崖壁が見られた「利尻・礼文」の旅行は、とても印象に残っている」話し、また昭和50年頃には役員も務め、「たくさんの人に助けをもらい、任期を全うできました」と話してくれました。

50歳の頃に旦那さんに勧められて一緒にカラオケを始め、最初はあまり好きではありませんでしたが、今となってはカラオケが趣味になるほど好きになり、今では週1回は自分で車を運転して、北見まで出掛け、カラオケを楽しんでいます。

「運転できるうちは楽しみたい」と楽しそうに話してくれました。



# 挽回を期して大きく育て!!

春先からの異常低温が長引き、春作業が遅れました。ほ場の状態を見ながらの植え付けとなり、組合員のみなさんにとっては、大変気苦労の多い植え付け作業となりました。そのようななか、皆さんの頑張りをスグッチさせていただきました。ご紹介します。

## 馬鈴しょ

### 正品歩留まりの向上をめざす

温根湯地区・滝湯の本條康浩さんは、馬鈴しょ、てん菜、麦の他に白花生などを含めて27畝を作付け。食用馬鈴しょの「男爵」2・5畝、加工用「トヨシロ」2・6畝と「オホツクチップ」0・6畝を5月20日から植え付けを始めました。



▶植え付け作業に励む本條さん家族(5月20日撮影)

きたみらい馬鈴薯振興会の理事を務める本條さんは「ここ数年は例年通りの時期に開始しているが、本来からみるとやはり遅くなってしまっている。昨年は歩留まりが良くなかったため、今年は良くなるよう、がんばっていききたい」と話してくれました。

※JAきたみらいでは、今年の馬鈴しょ作付面積は1900畝で、生産量6万2千ト、加工用は430畝で、生産量1万4千トの生産を計画。

## 玉ねぎ

### 肥培管理の徹底で高品質をめざす

上常呂地区・広郷の西原克隆さんは、玉ねぎ、小麦、てん菜など約15畝を作付け。



▲玉ねぎの定植作業を行う西原さん

玉ねぎは、「北早生3号」と「北もみじ2000」の2品種2・5畝を作付けしています。

4月24日より極早生品種「北早生3号」の苗の植え付けが始まりましたが、悪天候で定植を見合わせていた西原さん。2週間ぶりに快晴となった5月10日は、4畦用の移植機を使って早生種「北もみじ2000」を次々と定植しました。

西原さんは「天気回復を期待するとともに、植え付け後の肥培管理を徹底し、高品質な玉ねぎを生産したい」と意気込みを話してくれました。 ※JAきたみらいでは、今年の玉ねぎ作付面積は4450畝で、24万7千6百トの生産を計画。

## JAからの お知らせ

# INFORMATION

## てん菜

### 高収量・高糖分めざす

置戸地区・川南の井上雅明さんは、小麦、種子薯、加工スイートコーンなど33畝を作付する畑作農家。てん菜は12畝の作付を予定し、3月13日に播種。苗は順調に生育し5月9日から移植を始め2日に完了し、芋の植え付け作業が開始されました。井上さんは、「昨年は多雨で減収となったが、肥培管理を徹底し、高収量・高糖分を確保したい」と話してくれました。



▲移植作業を行う井上さん家族

相内地区・東相内の畑中利男さんは、水稲専業農家で4月23日に播種を行い、5月27日から8条田植機で移植を始めました。悪天候のため、作業の遅れが心配されましたが、年並みのスタートが切れました。畑中さんは水稲20畝を作付け予定で、「近年は豊作に恵まれているが今年も水管理に細心の注意を払い10a当たり540kgの収穫を目指します」と話してくれました。



▲水稲20畝を作付けする畑中さん家族(5月27日撮影)

## 水稲

### 4年連続の豊作を願い田植えスタート!



▲説明を聞く北光小学校の児童たち

## 青空教室 タマネギを育てよう!

### 北光小学校で体験学習

5月21日に北見市北光小学校3年生93名が、校内にある農園で玉葱の植え付けの体験学習を行いました。当初の予定から雨で2度延期になっていたため、児童たちにとって待ちに待った実施となりました。初めに企画振興グループの高田職員から紙芝居で苗が出来るまでの説明があり、熱心にメモをとる子ども達の姿がありました。少し土が固か

ったため、大変そうでしたが、みんな楽しんでそこに植えていました。あわせて2人1組でペットボトルでの栽培も行い、根の成長過程を観察することになっており、最初の苗の状態のスケッチも一生懸命行っていました。子ども達からは「たまねぎ好き!」、「早く料理したい!」といううれしい声も聞かれました。

## 『JAきたみらいfacebook開設しました』

5月14日(火)より、JAきたみらいfacebookを開設しました。facebookに登録していない方も、パソコンやスマートフォンから閲覧が可能です。毎週火曜日と金曜日に投稿予定ですので、ぜひ一度ご覧下さい!!

<https://www.facebook.com/jakitamirai>

からアクセスいただくか、こちらのQRコードを読み取ってください。



# INFORMATION

## 第4回 理事会報告

5月30日、午前9時より第4回定例理事会が開催され、報告事項10件、議決事項9件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】**
- ①内部監査（融資部門）報告について
  - ②組合員状況報告について
  - ③財務状況報告について
  - ④人事の発令について
  - ⑤夏期手当の支給について
  - ⑥北見市に対する平成24年度縁故債の貸付について
  - ⑦組合員ふれあい室業務推進体制について
  - ⑧作況調査（5月15日）報告について
  - ⑨新たな経営所得安定対策の構築に向けた組織討議について
  - ⑩組合員アンケート第1次分析結果報告について
- 【議決事項】**
- ①出資増減口及び持分譲渡について
  - ②固定資産の取得及び処分について
  - ③玉ねぎ加工処理施設の工事に係る発注方法について
  - ④平成24年度JAきたみらいディスクロージャー誌の発行について
  - ⑤夏期地区別懇談会実施日程（案）について
  - ⑥地区運営委員の選任と委嘱について
  - ⑦諸規則等の制定及び改訂について
  - ⑧平成25肥料年度事業推進方針について
  - ⑨2013みんなのよい食親善大使の取組みについて

## 青年部・女性部・フレミズなど 6・7月のおもな活動計画

- 6月6日(木) フレミズとJA常勤役員との意見交換会 女性部とJA常勤役員との意見交換会
- 6月7日(金) 青年部とJA常勤役員との意見交換会
- 6月27日(木) 平成25年度新規就農者交流会 講師：HBC北海道放送アナウンサー 山内要一さん 「山ちゃん美香の朝ドキ！」 「ファイターズ中継」など担当 場所：北見モイワスポーツワールド
- 7月1日(月)～2日(火) フレミズ8支部合同視察研修
- 7月5日(金) 畑楽クラブ開講式
- 7月7日(日)～8日(月) 女性部8支部合同視察研修
- 7月8日(月) 青年部8支部交流ソフトボール大会

## みなさんの“声”を お聞かせ下さい ～7月12日から地区別懇談会～

平成25年度「夏期地区別懇談会」が次のとおり日程で開催されます。懇談会は組合員皆さんからJAへの要望・意見などをお聞かせいただき、明日のJAに反映させることを目的として開催されるものです。農繁期でご多忙とは思いますが一人でも多くの組合員と青年部、女性部、フレミズ、家族皆さんの出席をお願い致します。

○日程 7月12日(金)～7月18日(木)まで4日間  
○時間 午前の部 9時00分から 12時00分  
午後の部 1時30分から 4時30分

日 程	地区事務所等	
	午 前	午 後
7月12日(金)	端 野 (2階会議室)	北 見 (センター2階会議室)
7月16日(火)	相 内 (2階会議室)	訓 子 府 (3階会議室)
7月17日(水)	留 辺 薬 (2階会議室)	置 戸 (町中央公民館)
7月18日(木)	温 根 湯 (2階会議室)	上 常 呂 (1階会議室)



▲昨年7月2日に開催された相内地区懇談会

## “緊急” 営農情報の メール配信始める！ 「利用してみませんか」

当JAでは、6月上旬より、緊急の営農情報をメール（見出しのみ）にて、配信を始めました。おもな配信は、緊急営農技術情報（病害多発・災害発生時等）、急を要する営農関連を中心とした情報の2点を予定しています。ご希望の方は、JAきたみらいのホームページ『お問い合わせフォーム』にて、メール配信希望とお申し込みください。又、携帯電話への配信を希望される方はPCメールを受信できるよう設定して下さい。なお、緊急情報の発信を目的とするため、案件に関わらず申込者全員に発信されますことをご理解願います。個人情報厳守いたします（目的以外の使用はいたしません）。お問い合わせ先 営農振興部企画振興Gまで (TEL32-8786)

## 故人の略歴

昭和7年訓子府町に生まれる  
長兄・次兄の死去に伴い、農業に従事  
昭和60年4月～平成2年3月  
訓子府町農協理事、訓子府町農業共済組合理事  
平成3年4月～15年1月  
訓子府町農協代表理事組合長  
5年6月～14年6月 北海道信連理事  
8年5月～15年4月 北見広域連会長  
8年6月～11年6月  
北海道共済連・厚生連理事  
13年3月  
JA北海道中央会「功労賞」を受賞  
13年11月「訓子府町産業功労賞」を受賞  
15年1月「北海道産業者賞」を受賞  
14年6月～16年6月  
北海道信連経営管理委員  
14年6月～19年4月  
北海道甜菜協会副会長  
15年2月～19年4月  
当農協初代表理事組合長  
16年6月～19年4月 ホクレン理事  
本年4月30日、肺炎腫に肺炎を併発、入院加療  
5月10日、心不全により永眠、享年82歳



▲祭壇の遺影に手を合わす参列者

初代組合長を務められた高橋俊一氏が5月10日、ご逝去されました。訓子府地区高園実践会、当農協との合同葬にて、12日しめやかに通夜が営まれ、翌13日、多くの参会者が見守るなか、告別式が執り行われました。弔辞には、訓子府町長菊池一春氏、友人代表に大坪勝廣氏、当JAの前会長の加藤孝幸氏、旧8農協組合長を代表し中山外亀雄氏、孫代表と5名の方から、「安らかに眠りにつかれ、地域のために心血を注いでこられたお身体をゆつくり休めてください」と、それぞれ別れを惜しみ、哀悼の意が述べられました。葬儀委員長を務めた西川組合長は、「力強い指導力で、初代組合長として農業振興に尽力された偉大な方でした。多くの組合員、役員の方々の皆様に代表し、謹んでご冥福をお祈りいたします」と参会者に謝辞を述べ、故人との惜別を悼みました。

## 初代組合長 高橋俊一氏ご逝去 訓子府高園実践会と農協の合同葬

エリア 地区名	西エリア			南エリア		東エリア		
	温根湯	留辺薬	相 内	置 戸	訓子府	上常呂	北 見	端 野
地区取材 担 当	中川裕二	中野孝祐	辻 本 均	酒井沙織	山内庸平	荒畑正紀	横田佳織	蛇川卓也
ふれあい グループ 協力員	黒宮裕一	黒宮裕一	竹倉雅洋	曾我妙子	小林雅司 GM	野口和寿	土屋正樹	南保和幸



「おひさまサラダ」を手に  
▲前列左から 丸山委員、小野寺委員、本多委員長、横田委員、酒井委員  
▲後列左から 中川委員、蛇川委員、高田委員、辻本副編集長、荒畑編集長、山内委員、中野委員、堀アドバイザー

24年度全道JA広報誌コンクール 「おひさまサラダ」最優秀賞！

組合員皆様のご理解ご協力に支えられ、名誉ある賞を受賞することができました。組合員の皆様とともに受賞を喜びたいと思います。「広報誌の部」で、当JAの「おひさまサラダ」が平成20年度以来5度目の最優秀に選ばれました。また、「コミュニケーション誌の部」では、「ぐりんGreen」が努力賞に入賞しました。これを契機に編集委員一同、気を引き締めて、広報活動に努めてまいります。ふれあいグループ地区担当者との連携のもと、「営農の横顔」を、そして「ご家族の生活、日常」を紹介し、「地域・人との絆」情報を発信していこうと思っております。今後とも、組合員の皆様をはじめご家族の方々にも、「声かけ」させて頂きます。どうぞ、快く笑顔でご登場頂きますよう引き続き、お付き合いのほどお願い申し上げます、お礼とさせていただきます。

◆全道JA広報誌コンクール 昭和48年より、JA北海道中央会主催で開催。審査は3部門（広報誌の部、コミュニケーション誌の部、ホームページの部）。24年度の広報誌のコンクール応募数は21JA。



**【材料：2人前】**  
 厚揚げ.....1/2個  
 ナス.....2本  
 シイタケ.....3枚  
 長ネギ.....10cm  
 ショウガ.....1/2個  
 ごま油.....大さじ3  
 みそ.....大さじ2  
 しょうゆ.....大さじ2  
 かたくり粉.....大さじ1  
 ワケギ.....少々  
 水.....200ml  
 ご飯.....適量

## ナスと厚揚げの丼

【エネルギー352kcal(1人分)】

### 【作り方】

- ①ナスを輪切りにし、フライパンに油を引き弱火～中火でじっくりと両面を焼く。
- ②厚揚げは食べやすい大きさに、シイタケ、長ネギ、ショウガはみじん切りにしておく。
- ③ナスが軟らかくなるまで焼いたら、いったんフライパンから取り出し、そこへシイタケ、長ネギ、ショウガを入れて焦がさないようによく炒める。
- ④シイタケと長ネギがしんなりしてきたら、厚揚げと水を入れて全体を合わせる。
- ⑤さらに、みそ、しょうゆを加え2～3分ほど煮込んだら、火を止めて、水で溶いたかたくり粉を入れ、とろみを出す。
- ⑥最後にナスをもう一度フライパンに戻して全体を混ぜ合わせる。
- ⑦⑥をご飯に掛けて、ワケギを添えていただく。

### メモ

ナスと厚揚げで作るボリューム感のある丼です。軟らかくなるまでしっかりごま油で焼いたナスはコクがありみそとの相性もバッチリ。長ネギとショウガの風味が食欲をそそります。どんな種類のナスでもおいしくできます。



**【材料：2人前】**  
 モズク.....50g  
 卵.....1個  
 梅干し.....1個  
 オオバ.....2枚  
 水.....200ml  
 鶏がらスープのもと.....小さじ1  
 酒.....小さじ1  
 塩.....少々  
 しょうゆ.....少々

## モズクの梅香スープ

【エネルギー50kcal(1人分)】

### 【作り方】

- ①鍋に水、鶏がらスープのもと、酒、塩、しょうゆを入れて中火にかける。
- ②梅干しをたたいて梅肉にし、オオバは千切りにしておく。
- ③①が沸騰したら溶いた卵を入れかき混ぜ、モズクも加える。
- ④出来上がったスープに②の梅肉とオオバを添えていただく。

### メモ

今では年中店頭で並ぶモズクですが、春～初夏にかけてはおいしい生モズクが出回ります。ヘルシーなモズクのスープ。今回は梅肉を加えてさっぱりした後味に仕上げました。ご飯を入れておじやにもアレンジできます。

### 編集後記

- ・今月号から新コーナーとして、幅広い年齢層のご夫婦を紹介する「なかよし夫婦」、元気な年配者を紹介する「元気な先輩」、女性部・プレミアの皆さんを紹介する「プリティーウーマン」を開始。今までのコーナーのレイアウトも一新してのスタートとなります。
- ・今回掲載の記事にもありますが、今月号から新たな広報編集委員会体制がスタートしました。私もその一員ですが、先月までの取材地区担当者が変更になっている地区もあります。顔なじみでない職員に戸惑われるかと思いますが、新たな編集委員会一丸となり取り組んでいきますので、これからもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・植え付け作業が大幅に遅れ、組合員のみなさんも焦りを感じていることと思いますが、体調には充分注意されながら、農作業事故には気をつけて下さい。

(虻川 卓也)

### JAきたみらい概要

(平成25年5月18日現在)

- ・組合員数(正) 1,788人
- ・組合員数(准) 5,566人
- ・組合員戸数(正) 1,186戸
- ・貯金 99,288百万円
- ・貸出金 20,280百万円
- ・出資金 5,041百万円